

1. とうもろこしのシカゴ定期は、12月中旬以降南米の天候の乾燥懸念により上昇したが、1月12日発表の米国農務省の需給見通しで12月1日時点の在庫が事前予想を大きく上回ったことから下落し、現在は610セント/ブッシェル前後の水準となっている。
2. 大豆粕のシカゴ定期は、12月中旬以降南米の乾燥懸念から350ドル/トン前後まで上昇したが、その後は南米の天候に左右されながら推移しており、現在は340ドル前後で推移している。
3. 海上運賃は、新造船が順調に竣工していること、世界的な景気の減速感の強まりにより輸送需要が減少していることから12月中旬以降下落しており、現在は50ドル/トン前後の水準となっている。
4. 外国為替は、欧州諸国の財政問題を契機として世界的に景気の減速感が強まってきているものの、日本の景気も回復の兆しが見られないことから77円前後で一進一退の相場展開となっている。

